

No 2076		レジメン名		Pola-R-CHP (1コース目用)						
病棟	患者番号	氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名			
			年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)			
			歳	cm	kg	m ²	ml/min (mg/dl)			
【適応がん種】DLBCL		Pola/RIT/DXR/GPA/PSL			CCr補正	GOT補正	T-Bil補正	【病状】		
1・エンドキサン	750 mg/m ²	DAY2				-	-	-	1 全て説明している	
2・ドキシソルピシン	50 mg/m ²	DAY2				-	-	-	2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない	
3・プレドニン内服	40 mg/m ²	DAY2~6							3 未告知である	
(または)	100 mg/body								【治療】	
4・リツキシマブ	375 mg/m ²	DAY1							1 抗癌剤による治療・予防と説明	
5・ポライビー	1.8 mg/kg	DAY2							2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明	
★TSE(伝達性海綿状脳症)説明必要					WBC基準	HGB基準	PLT基準	3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明		
21日(3週)1クール					-	-	-	4 薬に関しては説明していない		
平成16年4月1日 改訂										
NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法					
①	ロキソプロフェン1錠・ポララミン2錠	内服 (前投与 オーダー不要)			抗がん剤投与30分前に					
②	プレドニン(40mg/m ² or 100mg/body)	内服 (処方必要)			①と同時に内服					
③	生食50mL		1 本		①内服と同時に点滴					
④	リツキシマブ()mg	500mg 100mg	本 本	5%ブドウ糖250mL	③終了後～ 下記の点滴速度で					
⑤	グラニセトロン 1mg		1 本	★生食50mL	15分で点滴					
⑥	ポライビー()mg	140mg 30mg	本 本	下記の注射用水で溶解 30mg→1.8mLで溶解 140mg→7.2mLで溶解 ★生食100mL 投与量75mg/body以下 は生食50mLに混注	⑤終了後～ 90分で点滴					
⑦	生食50mL		1 本		⑥終了後～ 30分で点滴					
⑧	エンドキサン()mg	500mg 100mg	本 本	生食250mL	⑦終了後～ 90分で点滴					
⑨	ドキシソルピシン()mg	50mg 10mg	本 本	★5%ブドウ糖50mL	⑧終了後～ 15分で点滴					
⑩	ハルトマンPH8 500mL		1 本		⑨終了後～ 1時間で点滴					
⑪	ラシックス20mg		0.5 本	(アンプルのまま払い出し 静注時半分投薬)	⑩終了後に 1/2本を静注					
【投与速度】リツキシマブ はじめの30分は20mL/時間。 患者の状態を観察しながら、30分毎に20mL/時間ずつ、最大160mL/時まで上げることができる。										
【医師注意点】 <input type="checkbox"/> 腫瘍量多い場合はアロプリノール/フェブキソスタット・必要に応じてラスプリカーゼ投与を考慮する <input type="checkbox"/> 感染症に対する予防投与(バクタ・アシクロビン 等)を考慮すること <input type="checkbox"/> 嘔気・嘔吐が強い場合は、前投薬にデキサート6.6mgの追加を考慮する										
【看護師注意点】 <input type="checkbox"/> 投与開始～終了1時間後までバイタルチェックを行う <input type="checkbox"/> インフュージョン・リアクション発症時は一旦中止とし、速やかに主治医へ報告し指示を仰ぐ										
【薬剤師注意点】ポライビー ・30mgあたり1.8mL、140mgあたり7.2mLの注射用水で溶解。(溶解後20mg/mL) ・投与量75mg/body以下は生食50mLに混注する。(溶解後の濃度0.72mg/mL～2.7mg/mLの範囲から逸脱するため)										
										202303作成
指示医 受け 監査 払い 払監 調製 調監 前確 実施										
月日	指示									
	①	③④	⑦	DAY1						
	①②	⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪		DAY2						